

小児疾患におけるアフエレシス ー治療法の1つの選択肢としての血液浄化療法ー

神田祥一郎

東京大学医学部小児科

アフエレシスは体外循環によって血中から病気の原因を除去する治療法です。

アフエレシスが対象とする疾患は、腎疾患のみならず、川崎病、膠原病・リウマチ性疾患、神経疾患、感染症、内分泌・代謝疾患、救急疾患、血液疾患、消化器疾患など多岐にわたります。疾患によっては高いエビデンスをもってガイドライン等で推奨されている場合もあります。ですから、われわれ小児科医は治療法の1つとしてアフエレシスを知っておく必要があります。

しかし小児科医のなかでアフエレシスに馴染みのある医師は多くありません。成人と異なり小児では血液透析を行うことが圧倒的に少ないため、各病院の血液浄化部を利用する機会が少なく、体外循環を用いた治療を行うことに少し抵抗をもってしまうのではないかと推察します。またアフエレシスの方法は単純血漿交換法だけでなく、二重膜濾過血漿交換法や疾患に応じた吸着療法など様々あります。場合によっては回路が複雑になることもあり、それがアフエレシスを難しい治療と感じさせる要因になっているかもしれません。

そこで、アフエレシスをより身近なものとして感じてもらいたいと考え、「小児疾患におけるアフエレシスー治療法の1つの選択肢としての血液浄化療法ー」を企画しました。

本特集では総論において、アフエレシスの適応疾患、アフエレシスの種類、アフエレシスの実際、そして、小児におけるアフエレシスについて説明しています。読者の皆様には、実際に担当している患者さんに対してアフエレシスの適応があるかどうか迷ったときに、まずこの総論を読んでいただければと思います。

各論では、小児疾患を分野横断的にまとめ、アフエレシスが施行され得る疾患についてより細かく、疾患ごとに解説しています。患者さんの診断がついた後、状態評価をすすめ、アフエレシスの適応・選択について検討する際に、参考にしてください。

各項目はそれぞれ第一人者の先生方に執筆していただきました。本特集を手にとっていただければわかりますように、図表を多く使用し、初めてアフエレシスに接する先生方にもわかりやすい記載になっています。とても充実した内容ですので、自信をもって皆様の元へお届けできます。

小児のアフエレシスについてまとめた本は少ないので、ぜひ、本特集を手元に置いて長く参考にしていただければと思います。これまでアフエレシスのことを、とっつきにくく感じていたり、遠い存在だと思ったりしていた先生方が本特集をきっかけに興味をもっていただけたら大変光栄です。

末筆ではございますが、執筆してくださった先生方、本誌編集委員会の先生方に深く感謝申し上げます。